軽労化技術を活用したスマートスーツの導入による漁労作業の省力化・安全性向上の実証

実施主体：（株）スマートサポート

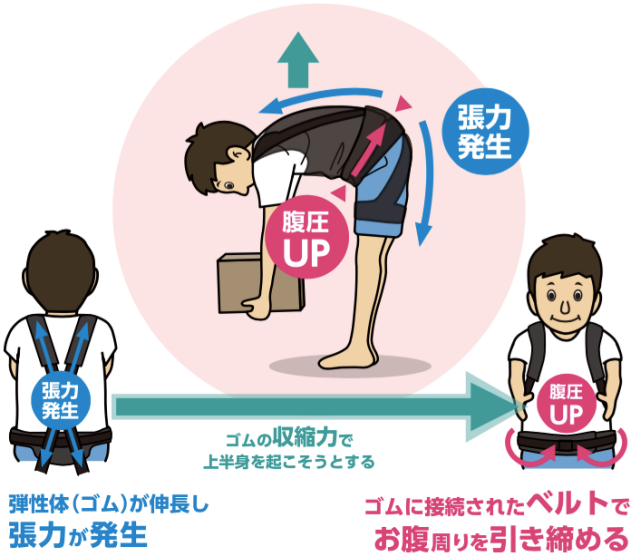
1 事業の目的

漁業者の作業負担を軽減し、腰痛や転倒などを予防する軽労化®の概念により開発された漁労用スマートスーツ®を導入し、漁労作業の省力化・安全性向上効果を実証

※「軽労化」および「スマートスーツ」は（株）スマートサポートの登録商標

2 開発技術及び実証の概要

機械的な動力を用いず、弾性体（ゴム）の張力のみで軽労化効果を発生させる漁労用スマートスーツを、丹後とり貝の垂下式養殖作業へ導入し、スマートスーツ装着時と非装着時の筋負担等について比較



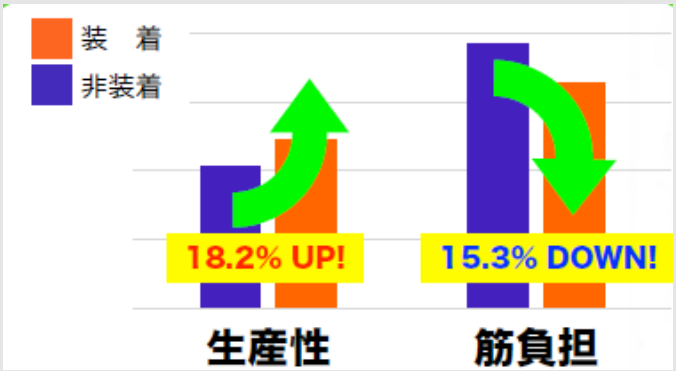
●とり貝の垂下式養殖
約40kgの養殖コンテナを海中から引き上げる作業を繰り返すため、腰痛リスクが非常に高い漁法

3 開発技術の成果・普及

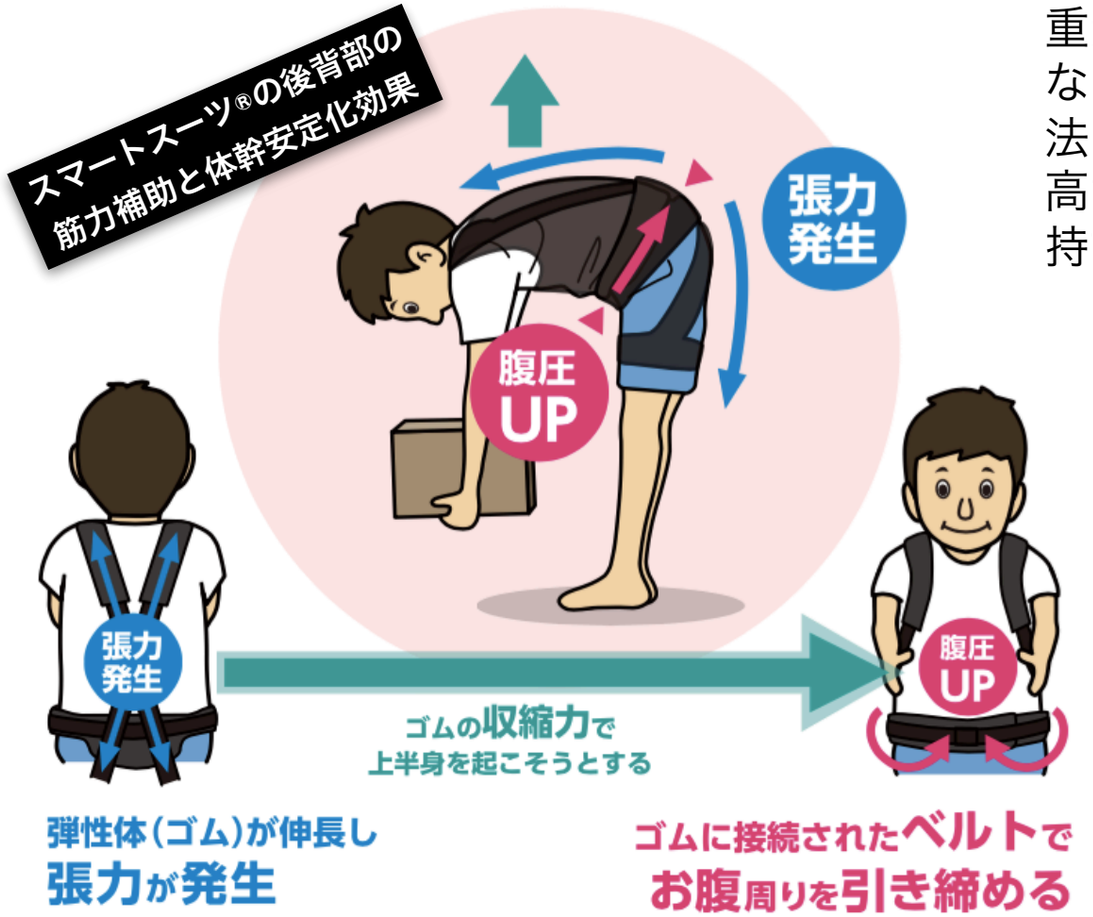
スマートスーツ®を内包した作業服

・スマートスーツ非装着時と比べて、作業効率（生産性）が18.2%増加

・スマートスーツ非装着時と比べて、筋負担が15.3%減少



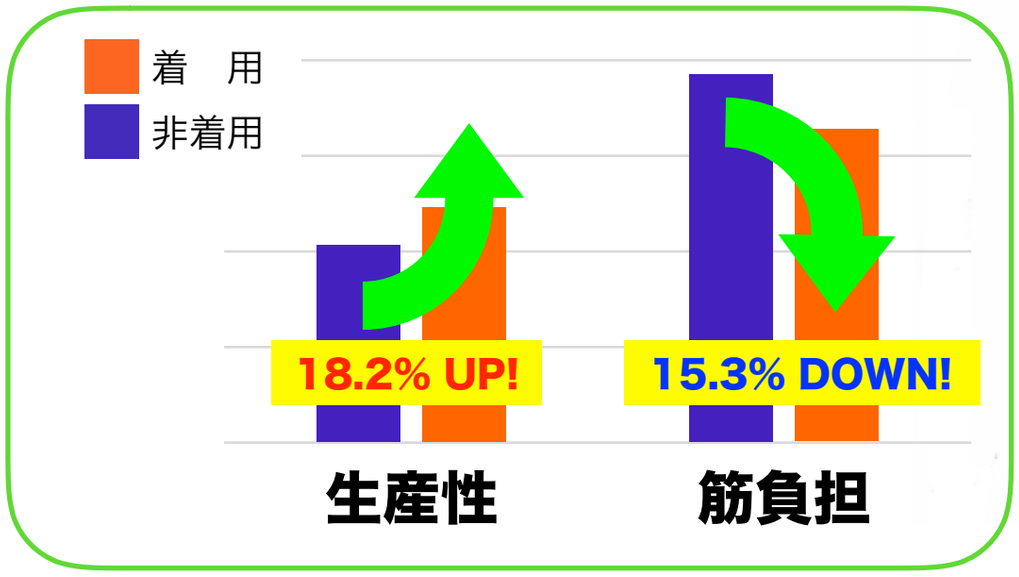
「丹後とり貝」の垂下式養殖作業に 軽労化®を目的とした「スマートスーツ®」を導入し、筋力補助と生産性の向上を実現しました！



重量物の持ち上げや中腰姿勢の維持などの身体への負担が大きい生産方法である垂下式養殖業では生産者の高齢化や担い手不足がブランドの維持で深刻な課題となっています。

加齢による体力低下や過労による疲労の蓄積が原因となる腰痛発症リスクを軽労化®技術で解消し、いつまでも安全に安心して働ける作業環境を実現しました。

京都ブランド産品「丹後とり貝」



スマートスーツ®を内包した作業服

「軽労化」および「スマートスーツ」は（株）スマートサポートの登録商標